

2012年度

学校だより

第40号

2013(平成25年)年3月2日

ヒューストン日本語補習校

本年度あと 2日

毎年この時期になると次の詩を思い出します。

ゆずり葉

河合酔茗

子どもたちよ。
これはゆずり葉の木です。
このゆずり葉は
新しい葉が出来ると
入り代わってふるい葉が
落ちてしまうのです。



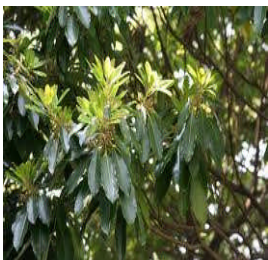
こんなに厚い葉
こんなに大きい葉でも

新しい葉が出来ると無造作に落ちる
新しい葉にいのちをゆずってー。

子どもたちよ。
お前たちは何をほしがらないでも
凡てのものがお前たちにゆずられるのです。
太陽のめぐるかぎり
ゆずられるものは絶えません。

かがやける大都会も
そっくりお前たちがゆずり受けるのです。
読みきれないほどの書物も
みんなお前たちの手に受け取るのです。

幸福なる子どもたちよ。
お前たちの手はまだ小さいけれどー。
世のお父さん、お母さんたちは
何一つ持ってゆかない。
みんなお前たちにゆずってゆくために
いのちあるもの、よいもの、美しいものを、
一生懸命に造っています。



今、お前たちは気が付かないけれど
ひとりでのいのちは延びる。
鳥のようにうたい、
花のように笑っている間に
気が付いてきます。

そしたら子どもたちよ。
もう一度ゆずり葉の木の下に立って
ゆずり葉を見るときが来るでしょう。

小6・中3・高3の皆さん、その立派な姿を下級生
にしっかりと引き継いでいってください。

桃の節句

明日は桃の節句、「あ
かりをつけましょ…」
や「赤い毛氈……」の
歌が聞こえてきます。
そこで雛祭りの歌を調
べてみました。



「うれしいひなまつり」 (4番まで)

作詞：サトウハチロー 作曲：河村光陽

あかりをつけましょ ぼんぼりに
お花をあげましょ 桃の花
五人ばやしの 笛太鼓(ふえたいこ)
今日はたのしい ひな祭り

「ひなまつり」 (3番まで)

作詞：林柳波 作曲：平井康三郎

赤いもうせん しきつめて
おだいらさまは 上のだん
きんのびょうぶに ぎんのだい

「雛の宵」(「雛祭(ひな)の宵」)(3番まで)

作詞：不詳 作曲：長谷川良夫
ぼんぼりに灯を 入るととて
電灯殊更 消すもよし
瓔珞(ようらく)ゆれて きらめきて
物語めく 雛祭の宵

次のような歌もあるようです。

「たのしいひなまつり」

作詞：吉岡治 作曲：越部信義
ふっくらまるい もものはな (以下略)

「おひなまつり」

作詞：斎藤信夫 作曲：海沼実
あかいひなだん 金びょうぶ (以下略)

「おひなさま」

作詞・作曲不詳「絵本唱歌」
だいらさまやら かんじょやら (以下略)

もしかするとまだ他にもあるかもしれませんね。

落とし物・忘れ物

本日、「落とし物・忘れ物」を南校舎出入り口付近
に展示しました。来週(9日)も展示しますので、心
当たりの物がありましたら持ち帰ってください。

学級紹介

No 21

小学部 6年A組



6年A組は、男子5人、女子5人の13人のクラスです。休み時間は、元気がよくなりますが、授業中はしずかな、けじめのあるクラスです。

漢字テストや各教科の単元テストでは、クラスのほとんどが90点以上をとる、よく勉強するクラスです。国語の「生きる」「言葉の橋」では、自分の気持ちを詩に表わしました。算数では、「量の単位の仕組み」が終わりました。社会では「世界の中の日本」で国を一つ選び、グループや個人で調べ学習を行っています。卒業文集作成の活動もそろそろ終わり、あとは製本作業を待つだけとなりました。

このように、6年A組のみんなは、中学生へ進学するためにとってもがんばっています。

紹介文：東條 泰心 <担任：久次米康子>

◆パトロール当番予定表 3月9日◆

これは2・3月当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小4	5	諏訪 陽
		6	一尾 理子
		7	岩原 果奈
		8	片山 瑠南
		9	水野 妃織
		10	高橋 拓夢
		11	竹内 泰雅
★PM1リーダー	小4	12	星野 未宙
		13	甲斐 水葵
		14	松本 洋輔
		15	クック 優登
		16	有賀 桃花
		17	岡 奈津実
		18	丹波 駿

児童作品

6年A組

自分の名前 東條 泰心

ぼくの名前の由来は、父が言葉の響きで泰心と叫びつけたから。

ぼくの名前には、人と人との心のつながりを大切に生きてほしいという願いが込められている。名前に心の字が入っている理由は、父にも母にも名前の漢字の中に心が入っているからだ。泰は、おだやかでゆったりとしている、安らか、落ち着いているという意味だ。

ぼくは、泰心という名前をつけてもらってとても幸せです。

私の名前の由来 飯塚はるの

私の名前は、天候で決まりました。私が生まれた2000年7月6日は、日本全国に雲が一つもかかっていない日だったそうです。

横浜で仕事をしていた父は、札幌へ里帰り出産をしていた母が私を産むと聞いて、あわてて飛行機に乗ったそうです。その時の機内放送で、「今日は全国に一つも雲がかかっていない、素晴らしい晴天です。」と聞いた父は、私がとても素晴らしい日に生まれることを心から喜び、その素晴らしい空はとても美しかった、と話してくれました。

札幌に着いた父は、私を見て母にあの美しい晴天の話をし、私をはるのと名付けました。母は父の話にとっても感動し、これ以上ぴったりの名前はないと言ったそうです。

こうして私の名前ははるのになりました。



在籍数 (3月2日現在) 380名

(幼37名 小241名 中68名 高34名)

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

H.P.に於て学校便りをカラーでご覧になれます。

(文責 : 校長 山岡 清孝)